



低温・低湿度を好むウイルスにとって冬は絶好の環境です。反対に人のからだは、体温が低下すると代謝活動が低下し免疫力がダウンするため1年を通して冬は病気になりやすいのです。

冬に多い子どもの病気



インフルエンザ

流行期：12月～5月

症状：38℃以上の急な発熱、関節痛、頭痛、倦怠感、セキ、のどの痛み、鼻水など

*かかり始めの2～3日は見守りが必要です

*解熱後2日間は感染力があるので外出は控えます

マイコプラズマ感染症（マイコプラズマ肺炎）

流行期：10月～1月

症状：発熱、長引くセキ

*セキが続くときは受診しましょう

風邪（かぜ症候群・感冒・急性上気道炎）

流行期：1年中

症状：クシャミ、鼻水、セキ、のどの痛み、発熱

*原因の8割以上がウイルスによるものです



RSウイルス感染症

流行期：10月～2月

症状：発熱、セキ、鼻水

*低年齢（乳児、幼児）では重症化し、細気管支炎や肺炎をひきおこすこともあります



溶連菌感染症

流行期：冬～夏

症状：発熱、のどが赤く腫れる、舌に発疹

受診時のポイント

☆熱の経過を伝える

☆熱以外の症状を伝える

☆前日に食べたものを伝える

☆保育園や近所、家庭での感染症流行状況を伝える

☆予防接種状況を伝える



やけど

ストーブ、鍋、やかん、ホットプレート、ポットや炊飯器から出る蒸気、ヘアアイロンなど家の中には危険がたくさん潜んでいます。やけどをした時は、痕が残らないようにすぐ処置をすることです。

①冷やす！

とにかく冷やすことが第一です。病院へ向かう間も冷やし続けてください。

②必ず病院へ行きましょう！

やけどは皮膚表面のケガも心配ですが、皮膚の深部にどれだけダメージを負ったかわからないので自己判断はしないほうがいいですよ。必ず受診してください。



1Fと2Fの玄関に

消毒液を用意してあります

登園時や降園時、園舎に入る時にご利用ください。

感染性胃腸炎

流行期：11月～4月

症状：おう吐、下痢、発熱

*ロタウイルス感染では特有の酸っぱい臭いと灰色から白っぽい水様便が特徴です

*下痢は3～8日続きますが、乳幼児では更に長引くことがあります

*おむつ交換後は石鹸で手を洗いましょう

病気に負けない元気なからだ

病気が蔓延するこの季節を元気に過ごすには、毎日の生活習慣に関係しています。

★早寝早起きをしていますか

★好き嫌いはありませんか

★朝ご飯はしっかり食べましたか

★朝、いいウンチができましたか

★適度な運動（外遊び）をしましたか

★いっぱい笑いましたか（これ、大切なんですよ！）

園医の一言

インフルエンザが流行する季節になりました。ワクチンの入荷が少なくなってきています。接種を希望している方は、かりつけ医にご相談ください。 12月5日付

